平成25年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月29日

上場会社名　山加電業株式会社　　上場取引所　大
コード番号　1789　URL　http://www.yamaka.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 三森　茂
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理第二部長　(氏名) 田中　英二　TEL 03(5957)7661
四半期報告書提出予定日　平成25年2月12日
配当支払開始予定日　—
四半期決算補足説明資料作成の有無　:　無
四半期決算説明会開催の有無　:　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第1四半期の連結業績(平成24年10月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第1四半期	762	6.3	△47	—	△35	—	△41	—
24年9月期第1四半期	716	△54.1	66	△71.4	81	△67.4	74	△65.9

(注)包括利益　25年9月期第1四半期　△41百万円　(—%)　24年9月期第1四半期　75百万円　(△65.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第1四半期	△6.54	—
24年9月期第1四半期	11.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年9月期第1四半期	2,820	1,817	64.4
24年9月期	2,841	1,871	65.9

(参考) 自己資本　25年9月期第1四半期　1,817百万円　24年9月期　1,871百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	—	2.00	—	2.00	4.00
25年9月期	—				
25年9月期(予想)		2.00	—	2.00	4.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　:　無

3. 平成25年 9月期の連結業績予想(平成24年10月 1日～平成25年 9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,343	50.1	22	△75.7	22	△79.0	6	△92.3	0.94
通期	4,545	51.5	94	—	94	—	75	—	11.78

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　:　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
新規 ―社 （社名） 、 除外 ―社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年9月期1Q	6,375,284 株	24年9月期	6,375,284 株
② 期末自己株式数	25年9月期1Q	6,201 株	24年9月期	6,201 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年9月期1Q	6,369,083 株	24年9月期1Q	6,369,132 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1．当四半期決算に関する定性的情報 （3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報(その他)に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
（４）追加情報 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書 …… 7
四半期連結包括利益計算書 …… 8
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（４）セグメント情報等 …… 9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間における我が国の経済は、復興関連需要を基に国内需要が手堅く推移する一方で、減速中の海外経済回復が踊り場から抜け切れず、景気回復に足踏みが見られます。建設業界においても、東北地区に限りますと復興関連需要について多くの建設会社が進出した事から、受注価格競争は激化しています。この状況を受けて、震災に伴う影響の長期化から、当社への工事量の減少や単価の伸び悩み等が見られ、事業環境は極めて厳しい状況となりました。

このような状況の中、当社グループは経営体制の合理化と一層の強化、充実を目指すため、新経営体制において「現場力の強化」と「スピード重視の経営」を掲げ、経費削減及びリスク管理の強化を重点的に取り組み、価格競争力を高める努力を続けながら電気工事業（電力事業部門・内線事業部門・モバイル事業部門）と建物管理・清掃業に取り組んでまいりました。

以上の結果、当社グループの当第１四半期連結累計期間の受注高は、７億１千万円（前年同四半期比42.2％減）、売上高は７億６千２百万円（前年同四半期比6.3％増）となりました。また利益につきましては、電力事業部門では前期の受注伸び悩みに伴う完工量の減少を受けて利益が伸びず、内線事業部門では当四半期でほぼ完工となる工事進行基準案件の低利益が工事完成基準案件を圧迫し、モバイル事業部門では潤沢なる案件を抱えつつも完工期の第２四半期以降へのずれ込みから利益が伸び悩む事となりました。建物管理・清掃業では、建設業不況の影響を受けずに順調に推移したものの、電気工事業の未達を補うには至らず、営業損失は４千７百万円（前年同四半期は６千６百万円の営業利益）、経常損失は３千５百万円（前年同四半期は８千１百万円の経常利益）、四半期純損失は４千１百万円（前年同四半期は７千４百万円の四半期純利益）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（電気工事業）

電気工事業については、電力事業の伸び悩みと、内線事業の利益率悪化を受けて、当第１四半期連結累計期間の受注高は７億１千万円（前年同四半期比42.2％減）、売上高は５億３千５百万円（前年同四半期比23.6％減）、セグメント損失（営業損失）は５千９百万円（前年同四半期は６千５百万円のセグメント利益（営業利益））となりました。

（建物管理・清掃業）

建物管理・清掃業については、建設業不況の影響を受けずに順調に推移し、当第１四半期連結累計期間の売上高は２億２千７百万円（前年同四半期より２億９百万円増加）、セグメント利益（営業利益）は１千１百万円（前年同四半期より１千万円増加）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ２千１百万円減少し、28億２千万円となっております。また、負債合計は、前連結会計年度末に比べ３千２百万円増加し、10億２百万円となっております。純資産合計は、前連結会計年度末に比べ５千４百万円減少し、18億１千７百万円となっております。

資産の減少の主な要因は、現金預金３億５千５百万円の増加及び未成工事支出金７千３百万円の増加もありましたが、保険積立金３億３千３百万円の減少及び有価証券１億円の減少によるものであります。

負債の増加の主な要因は、１年内返済予定の長期借入金２千万円の減少及び長期借入金３千万円の減少もありましたが、未成工事受入金６千５百万円の増加及び工事未払金２千８百万円の増加によるものであります。

純資産の減少の主な要因は、利益剰余金５千４百万円の減少によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年９月期の第２四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想については、今後の完工、受注予測を踏まえました結果、「平成24年９月期決算短信」（平成24年11月13日付）及び本日公表した連結業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報(その他)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（４）追加情報

（連結納税制度の適用）

当社及び国内連結子会社は、第１四半期連結会計期間より連結納税制度を適用しております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年９月30日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金預金	556,337	911,930
受取手形・完成工事未収入金等	449,244	394,169
有価証券	100,192	―
未成工事支出金	201,295	274,493
繰延税金資産	16,338	16,862
その他	21,118	47,971
貸倒引当金	△5,621	△5,469
流動資産合計	1,338,905	1,639,957
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	432,287	433,874
機械・運搬具	224,029	224,029
工具器具・備品	257,387	253,714
土地	359,351	359,351
建設仮勘定	1,950	5,950
減価償却累計額及び減損損失累計額	△697,220	△699,020
有形固定資産合計	577,786	577,900
無形固定資産		
のれん	273,462	266,201
その他	6,874	6,537
無形固定資産合計	280,336	272,739
投資その他の資産		
投資有価証券	273,201	282,642
長期貸付金	349,000	349,000
保険積立金	333,339	―
その他	38,234	51,004
貸倒引当金	△349,113	△353,107
投資その他の資産合計	644,662	329,538
固定資産合計	1,502,785	1,180,178
資産合計	2,841,690	2,820,136

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年９月30日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
負債の部		
流動負債		
工事未払金	289,339	317,661
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	20,000	－
未払法人税等	11,888	5,946
未成工事受入金	110,203	175,352
賞与引当金	30,702	17,422
工事損失引当金	20,030	9,276
完成工事補償引当金	250	20
その他	143,559	184,049
流動負債合計	725,974	809,729
固定負債		
長期借入金	30,000	－
退職給付引当金	192,786	172,871
再評価に係る繰延税金負債	8,327	8,327
その他	12,831	11,818
固定負債合計	243,945	193,017
負債合計	969,919	1,002,747
純資産の部		
株主資本		
資本金	989,669	989,669
資本剰余金	821,016	821,016
利益剰余金	238,000	183,618
自己株式	△1,900	△1,900
株主資本合計	2,046,785	1,992,404
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	△175,015	△175,015
その他の包括利益累計額合計	△175,015	△175,015
純資産合計	1,871,770	1,817,388
負債純資産合計	2,841,690	2,820,136

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年10月１日 至　平成23年12月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年10月１日 至　平成24年12月31日）
売上高		
完成工事高	699,870	535,046
不動産管理売上高	17,091	227,201
売上高合計	716,961	762,247
売上原価		
完成工事原価	514,075	476,046
不動産管理売上原価	8,254	157,999
売上原価合計	522,329	634,045
売上総利益		
完成工事総利益	185,795	58,999
不動産管理売上総利益	8,836	69,202
売上総利益合計	194,631	128,202
販売費及び一般管理費	128,092	175,400
営業利益又は営業損失（△）	66,538	△47,198
営業外収益		
受取利息	899	718
保険解約返戻金	－	3,525
鉄屑売却収入	11,449	－
持分法による投資利益	2,735	9,463
その他	309	380
営業外収益合計	15,393	14,087
営業外費用		
支払利息	391	1,713
長期前払費用償却	93	567
その他	419	266
営業外費用合計	903	2,547
経常利益又は経常損失（△）	81,028	△35,658
特別損失		
固定資産除却損	－	1,326
電話加入権評価損	54	－
特別損失合計	54	1,326
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	80,974	△36,985
法人税、住民税及び事業税	6,160	4,658
法人税等合計	6,160	4,658
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	74,814	△41,643
四半期純利益又は四半期純損失（△）	74,814	△41,643

四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年10月１日 至　平成23年12月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年10月１日 至　平成24年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	74,814	△41,643
その他の包括利益		
土地再評価差額金	1,169	－
その他の包括利益合計	1,169	－
四半期包括利益	75,983	△41,643
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	75,983	△41,643
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

（セグメント情報）

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間(自　平成23年10月１日　至　平成23年12月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント		合計	調整額（注）1	四半期連結損益計算書計上額（注）2
	電気工事業	建物管理・清掃業			
売上高					
外部顧客への売上高	699,870	17,091	716,961	—	716,961
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	285	285	△285	—
計	699,870	17,376	717,246	△285	716,961
セグメント利益	65,517	1,021	66,538	—	66,538

（注）１　売上高の調整額△285千円は、セグメント間取引の消去の額であります。

２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間(自　平成24年10月１日　至　平成24年12月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント		合計	調整額（注）1	四半期連結損益計算書計上額（注）2
	電気工事業	建物管理・清掃業			
売上高					
外部顧客への売上高	535,046	227,201	762,247	—	762,247
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	80	80	△80	—
計	535,046	227,281	762,327	△80	762,247
セグメント利益又は損失(△)	△59,387	11,336	△48,050	852	△47,198

（注）１　売上高の調整額△80千円及びセグメント利益又は損失の調整額852千円は、セグメント間取引の消去の額であります。

２　セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

２．報告セグメントの変更等に関する事項

従来、「その他」に含めておりました「建物管理・清掃業」は、重要性が増したため、前第２四半期連結会計期間から報告セグメントとして記載することといたしました。なお、前第１四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第１四半期連結累計期間において用いた報告セグメントにより区分しております。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。